

## 第23回 医療的ケア研修セミナーのお知らせ

## 「インクルーシブと医療的ケア児支援」

## **期日 2025年 11月16日 日曜日 9時~17時**



現地開催(徳島県医師会館)(定員160名) +後日オンデマンド配信(2025年12月中旬~ 2026年1月末まで配信予定)

- **註腦** 一般社団法人日本小児神経学会
- 供催)徳島県小児科医会、日本重症心身障害学会、一般社団法人日本小児看護学会、徳島県医療的ケア児等支援センター
- 後援)徳島県、徳島県教育委員会、徳島県医師会、徳島県看護協会、JADEC徳島(徳島県糖尿病協会)、日本小児科学会徳島地方会、日本小児神経学会中国四国地方会

対	象	医療的ケア児(者)の医療・療育・教育・通園通所・訪問看護などに携わる、医師・歯科医師・看護師・保健師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・教員・保育士など	申込受付	2025年9月1日~(現地参加は定員になり次第受付終了)
Λ3			申込方法	日本小児神経学会ホームページ https://www.childneuro.jp から 所定のフォームを利用してお申込み下さい
	的	インクルーシブ教育が提唱されているが、医療的ケア児に 関しては受け入れが進んでいるとは言えない。学校現場に おいて、高度化複雑化する医療的ケア児の支援に関して学 べる機会が十分ではないことも一因と考える。今回の講習 では、医療職のみならず、教員、保育士、相談支援員など非 医療職で医療的ケア児に関わる方々が、支援に関する基本 的な知識を習得し、明日からの支援に役立てることができ ることが目標である。		
			参 加 費	医師 7,000 円 医師以外の医療従事者・支援者等 3,000 円 学生 2,000 円 (当日の参加申し込みや入金はできません。)
			専 門 医 研修単位	小児神経専門医研修単位5単位、小児科学会小児科 領域講習単位(現地参加のみ)最大2単位。
問合せ	先	一般社団法人日本小児神経学会事務局 第23回「医療的ケア 〒162-0055東京都新宿区余丁町8-16ネオメディトピア4F	」研修セミナー係	Tel:03-3351-4125 URL:https://www.childneuro.jp Fax:03-3351-4067 E-mail:gakkai@childneuro.jp

_		
		/ = ++ 4 == +++
		(講師敬称略)
		くかは ロハ かえ かい かつ ノ

9:00

開会のあいさつ

9:05-10:20 1. 小児の気管切開、長期人工呼吸器、適切な管理のために知っておくべきこと

宮崎 達志 とくしま医療センター 東病院 内科系診療部長 小児科

10:20-10:30

休憩

10:30-11:30

~2. 医療的ケア児の経管栄養について ~病院から在宅、在宅から学校へ それぞれの課題~

笠松 由華 かさまつ在宅クリニック 医師

11:30-12:30 3. 医療的ケア児のポジショニングを考える ~ 他職種の視点を考慮して~

廣島 伸哉 徳島赤十字ひのみね医療療育センター 理学療法士

12:30-13:30

休憩

13:30-14:30

4. 重症児に関わる際に大切にしたいこと

余谷 暢之 国立成育医療研究センター 総合診療部緩和ケア科

14:30-14:45 5. 災害対策研修会とファシリテーター養成講座について紹介

東田 好広 日本小児神経学会災害対策委員会、徳島大学病院小児科、吉村小児科内科

14:45-14:55 休憩

14:55-16:55

6.シンポジウム「インクルーシブと医療的ケア児支援」

14:55-15:25 基調講演:学校で医療的ケア児を受け入れるには 〜教員と看護師の連携から防災まで〜

小篠 史郎 熊本大学病院小児在宅医療支援センター

15:25-15:45 徳島県の医療的ケア児の就学の現状と課題

森。達夫。徳島大学医学部学校保健学分野、徳島大学病院小児科

15:45-16:05 訪問看護師からの報告:社会とつながりつづける ~医療的ケア児とともに地域で成長していくために~

大川 由紀 徳島市医師会訪問看護ステーション

16:05-16:25 医療的ケア児等支援センターが実施した人工呼吸器を装着した医療的ケア児の就学支援 〜兄弟で同じ学校に通いたい〜

渡部 尚美 徳島県医療的ケア児等支援センター

16:25-16:45 糖尿病専門医師からの報告:学校現場における1型糖尿病児

**小谷裕美子** 徳島赤十字病院小児科、徳島大学病院小児科

16:45-16:55

ディスカッション

16:5<u>5</u>

閉会のあいさつ

※演題名は変更になる場合があります